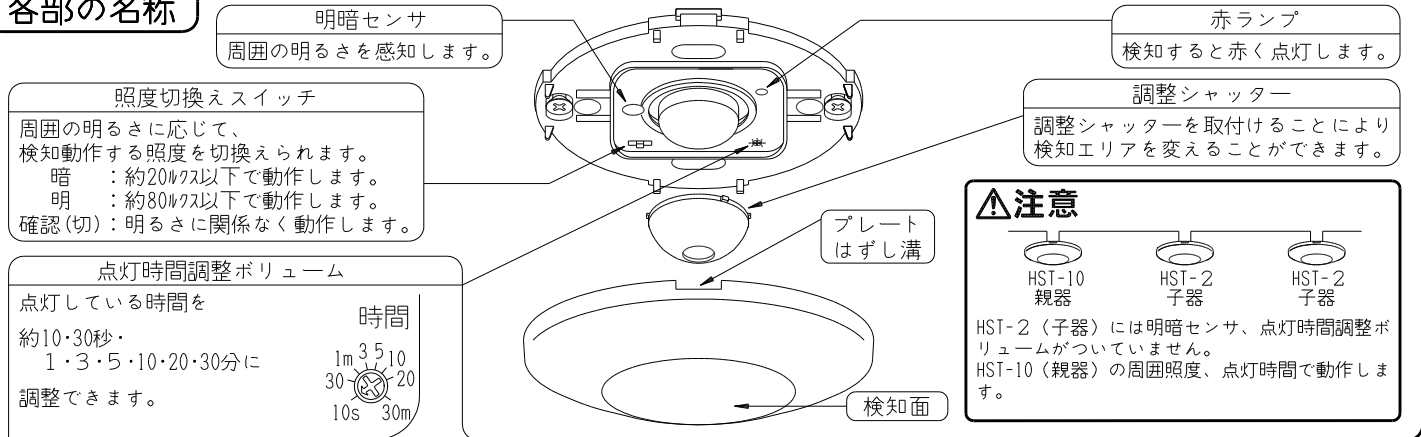


JIMBO 感熱センサスイッチ 天井用 HST-10 (親器) HST-2 (子器) 取扱説明書

このたびは JIMBO の感熱センサスイッチをお買い上げいただきありがとうございます。
 ・正しく施工していただくために、はじめに施工上のご注意をよくお読みください。
 ・感熱センサスイッチを正しくご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
 お読みになった後、大切に保存し、必要なお役立てください。

●人の動きを検知して、自動的に照明等を「ON」にし、人の動きがなくなると、自動的に遅れて「OFF」になります。

各部の名称



明暗センサ
周囲の明るさを感じます。

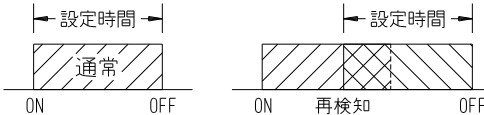
赤ランプ
検知すると赤く点灯します。

調整シャッター
調整シャッターを取付けることにより検知エリアを変えることができます。

照度切換えスイッチ
周囲の明るさに応じて、検知動作する照度を切換えられます。
 暗 : 約20ルクス以下で動作します。
 明 : 約80ルクス以下で動作します。
 確認(切) : 明るさに関係なく動作します。

点灯時間調整ボリューム
点灯している時間を調整できます。
 約10・30秒・1・3・5・10・20・30分に調整できます。

※ボリュームは目盛の位置に合わせてください。上記の目盛値以外(途中の設定時間)にはなりません。
 例) 3分と5分の間に調整しても4分ではなく、3分か5分のどちらかとなります。
 ※点灯している間に再度検知すると、その時点より再び設定時間点灯し続けます。



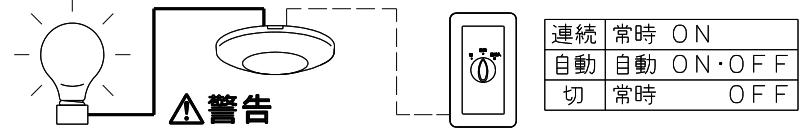
注意

HST-10 親器 HST-2 子器 HST-2 子器

HST-2 (子器) には明暗センサ、点灯時間調整ボリュームがついていません。HST-10 (親器) の周囲照度、点灯時間で動作します。

手動によるON・OFF操作

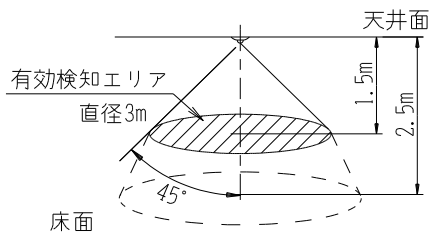
別売のロータリースイッチ「WJH01620PW」との組合わせて、手動で「連続 自動 切」の操作をおこなえます。



警告
白熱灯は1灯あたり100W以下でご使用ください。電球の球切れ時、大電流がながれ、内部部品が破損する原因になります。

検知エリア

3℃以上の温度変化を検知して動作します。
 使用周囲温度範囲0℃～35℃



取付場所・取扱上のご注意

注意 蛍光灯は、頻りに点灯/消灯を繰り返すとランプ寿命が短くなります。
 (グロー式・ネオン式・電球形インバータ式・コンパクト形インバータ式の)
蛍光灯は、ランプ寿命が極端に短くなるものがあります。
 ※ただし高頻度点滅可能な蛍光灯は除く
 頻りに点灯/消灯するところでは、白熱灯をご使用ください。
 さらに、蛍光灯ご使用のばあいには点灯/消灯の頻度が少なくなるように、照度切換えスイッチを「暗」、点灯時間調整ボリュームを長め(20分以上)に設定してください。

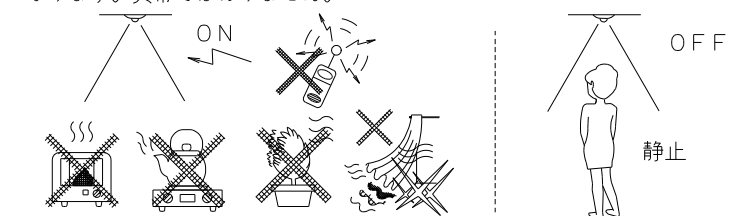
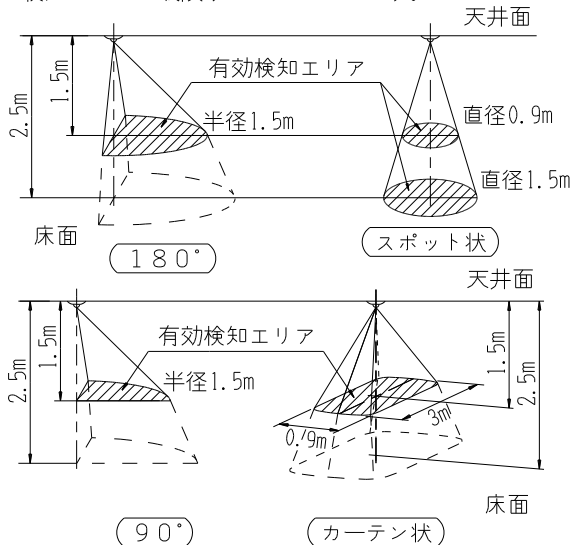
- 人が動いたときの温度の変化をセンサで検知して動作するので、急激な温度変化のある次のような場所には取付けないでください。
 又、使用中には急激な温度変化のあるものを検知エリア内に置かないでください。
- 1. エアコン等冷暖房器具やコンロ等調理器具の近く、及び温風・湯気の当たる場所。
- 2. 白熱灯や照明器具が近くにある場所。(器具から50cm以内の場所)
- 3. 反射による間接光の当たる場所。(反射の強い床のある場所)
- 4. 揺れるものや動くものが置かれている場所。(揺れるカーテン・木の葉等の影響で)
- 5. ヘッドライトの光が当たる場所。
- 強力な無線等の電気雑音が入ると動作してしまう場合がありますので、無線による電話機等はできるだけ離してください。

注意 天井用(HST-10, 2)は屋内用です。
 水のかかる場所・多湿の場所には取付けないでください。

- 遮蔽物(透明ガラスも)があると、隠れた人は検知できません。
- 3m以内の高さに取付けてください。
- 人がとまった状態であると、センサが検知できないので、照明がきえてしまう場合がありますが故障ではありません。
- 真夏の日中など、人体と周囲温度との差が3℃以内の場合は、人が通っても検知しない場合がありますが、故障ではありません。
- 停電等がおき、ブレーカーの電源を投入した場合、感熱センサの初期状態のため約40秒間、不安定動作いたします。その後、検知できる正常状態になります。異常ではありません。

検知エリアの設定例

●添付したシャッター(4種類)を取付けることにより、検知エリアを制限することができます。



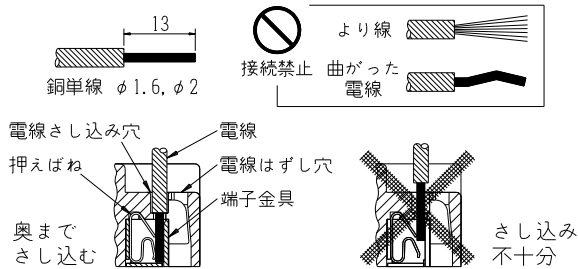
●検知面が汚れますと、検知能力が低下します。汚れた場合は、化学ぞうきん、シンナー、洗剤などを使わないでください。やわらかい布でふき取ってください。

警告

- 安全のため電熱器具への接続はしないでください。
- 負荷容量を越えて使用しないでください。器具の温度が上昇して、焼損や火災の原因となります。

警告 結線方法

- 電線はφ1.6、φ2の銅単線をご使用ください。
- 電線は、器具裏面のストリップゲージに合わせて電線を皮むきし、電線に曲がりがあれば直してください。
- 電線を、電線さし込み穴へ、皮をむいた心線が見えなくなるまで十分にさし込んでください。

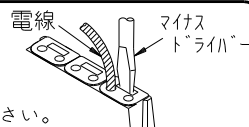


施工上のご注意

- ⊘ AC100V以外では使用しないでください。焼損や火災の原因となります。
- 誤結線や負荷側を短絡されますと過電流により内部部品が破損し、使用不能となります。
- メガテストをする場合は、器具を回路より外して行ってください。※電線(回路)と大地間を測定する場合も、器具を回路より外して行ってください。
- 電源を投入した場合、感熱センサの初期動作のため、約40秒間、不安定動作をいたします。その後、検知できる正常状態になります。異常ではありません。

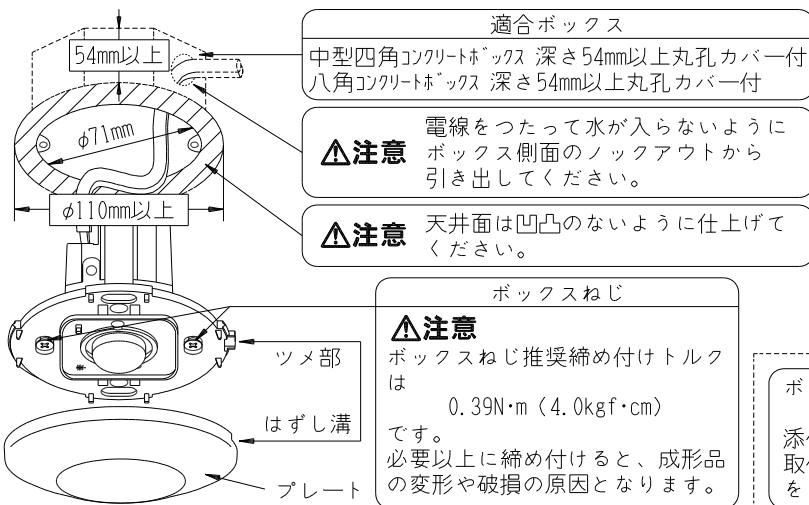
電線のはずし方

- 電源回路を切ってから実施してください。
- ⊖ドライバーを電線ははずし穴に差し込んで押しながら、電線を引いてください。



取付方法

ボックス工事の場合



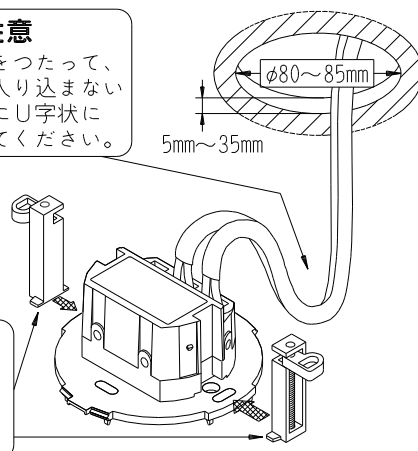
ボックスレス工事の場合

- 天井板の奥行きは54mm以上にしてください。

注意

電線をつたって、水が入り込まないようにU字状に曲げてください。

ボックスレス工事の場合
添付した天井板
取付具(2コ)
をご使用ください。



仕様

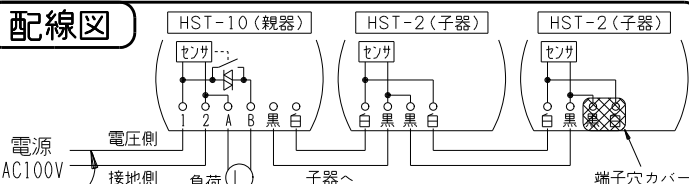
製品番号	HST-10(親器)	HST-2(子器)
定格	3A-100VAC 50/60Hz	DC12V 10mA
OFF時の消費電力	約0.2W (ON時の消費電力:約0.8W)	—
配線方式	4線式	2線式(信号線)
設置場所	屋内(天井面)	屋内(天井面)
照度機能	明るさセンサ付き	—
動作照度	暗:約20ルクス,明:約80ルクス (確認切):明るさ無関係	—
動作保持時間	約10,30秒 ,1,3,5,10,20,30分	—
出力方式	投入・遮断時:トライック制御出力 通電時:有電圧ル-接点出力	—

適合負荷 [負荷容量 および 接続灯数]

負荷	容量	10W	20W	30W	40W	110W
白熱灯	2~300W	1灯あたり100W以下				
換気扇	2~150W					
蛍光灯	グロー式 低力率	2~160W	13	8	4	3
	電子スタート式 高力率	2~210W	—	6	7	5
	レッド式 高力率	2~220W	—	10	—	5
インバータ蛍光灯	2~110W	10W	~20W~	30W~	40~55W	~110W
		10	5	3	2	1
電球形蛍光灯	2~150W	8~15W	~25W			
		7	6			

- 白熱灯は1灯あたり100W以下でご使用ください。(電球の球切れ時、大電流が流れ内部部品が破損する原因となります。)
- HIDランプ(高輝度放電ランプ)には使用できません。
- 電子回路内蔵の特殊照明器具には使用できません。
(遅延タイム・調光機能・壁スイッチの短時間ON/OFF操作による点灯状態切替機能・リモコン機能等内蔵の照明器具)
- 上記適合負荷の容量および接続灯数はおよその目安です。

配線図



センサスイッチの電源線には片切スイッチ等を配線しないでください。電源投入時には、感熱センサの初期状態のため、約40秒間不安定動作をいたします。

- 子器への接続は、極性がありません。最大2コ、総配線長50mまで。
- 子器への接続をするときは端子穴カバーをはずしてください。
- 子器配線は電源と非絶縁の為、最大100Vの対地電圧を持ちます。配線の際には、電源回路を切ってから実施してください。子器配線を地絡させますと、親器が使用不能となります。又、感電のおそれがあります。

操作ユニットとの組み合わせ

ロータリースイッチ「WJH01620PW」との組み合わせで、手動で別箇所より「連続 自動 切」の操作をおこなえます。

